

「町長と語ろう 活力あるまちづくり座談会」における意見・提言の一覧（発言順）

参加者の発言	町長の答弁	対応分類	備考
「常盤ふるさと資料館あすか」前の道路が曲がりくねっている。今後、改修する予定はないのか。	平成26年には常盤小学校の改修を終える見込みとしており、これにあわせて当該通りはガードレールを設置するなどして整備をする。ただし、カーブを直す改修には、用地買収が必要となるため、地権者の協力が得られるかどうかが大きな問題となる。	B (要望に沿えるもの)	拡幅及びカーブの修正を含めた路線改修を予定している。
町長のあいさつの中で、常盤小学校の新たな体育館については、マーチングのための幅を確保したものとするといった発言があった。それでは、その体育館はマーチングのための体育館ということか。	体育館は第一義的には体育の授業のためのものであり、その次には放課後の部活動に使うためのものである。 常盤小学校のマーチングは近年めざましい活躍をしており、その中でマーチングの練習に適した体育館整備に対する要望も承っている。そのため、新たな体育館は、それに対しても対応可能な設計にしたいと考えている。	A (解決又は処理済みのもの)	
旧水木保育所の雪捨て場に積んだ雪が崩れて道路に落ちている。危険のないように、注意して欲しい。	すぐに当該箇所の現場を確認して、対応する。また、その他にも町内の見回りをして、危険箇所の対応をする。	A (解決又は処理済みのもの)	2月14日、建設課が対応。
役場職員の接遇について、最近は電話対応が良くなってきていると感じるので、今後も続けて欲しい。また、来庁者に対して、もっと気軽にあいさつを交わせるような雰囲気づくりをして欲しい。	職員の接遇に関しては、気を付けるように日頃から申し渡している。また、来庁された住民の方には、役場から元気をもらって帰ってもらえるような、明るい雰囲気づくりを目指していきたい。	B (要望に沿えるもの)	接遇については、改めて町長から役場庁内へ指示する。
西中野目と小畑の体育館が使えなくなった。それによって、スポーツ少年団（野球）の冬季間の練習場所確保が非常に困難になっている。これについての対策を検討してもらいたい。	質問のあった現状については、認識している。これについては、現任期中に克雪トレーニング場を整備したいと考えている。	B (要望に沿えるもの)	
老朽が著しい常盤の旧公民館等の建物は、取り壊した方が良いのではないのか。	常盤支所を含めた一帯の建物は、平成24年度に取り壊しをして、町営住宅用地として整備をすることになっている。	A (解決又は処理済みのもの)	
クリーンライスの作付をしているが、町内にJAが2つあることが、取り組みの拡大に対して支障になっていると感じている。	常盤のJAで盛んなクリーンライスの作付については、藤崎のJAに協力を持ちかけることも大事だが、常盤地区の中でも更なる作付拡大に取り組んでいけるのではないのか。 これに関する補助金等についても検討しており、現在農政課と詳細について詰めているところである。	C (検討を要するもの)	
中島と榊の間にあるカーブで事故が多発している。また、同じ路線内に500m程度の歩道のない区間がある。県道であるので、危険な箇所を改善整備するように、町から働きかけて欲しい。	当該地域を通る路線については、平成25年中に融雪溝の整備計画を策定し、これをもって県に全体的な整備を働きかけていくこととしている。	C (検討を要するもの)	事故対応については信号機の設置を、歩道の整備不十分な部分については改修を、県に対して要望していく。

参加者の発言	町長の答弁	対応分類	備考
柵と境森の間の町道は立派になっている。今後、防雪柵の設置が必要と考えるが、町道では対応困難であろうから、県道に昇格させられないか。	要望を承って、取り組んでいくようにしたい。	D (要望に沿えないもの)	町道を県に管理してもらいたいという理由から、単純に県道への昇格を依頼するといった対応は困難である。
国道7号バイパスから、各地区へ向かう道について、どの道がどこにつながるか分かりにくい。各交差点に、小さくても良いので案内板（「至〇〇地区」等）をつけてはどうか。	案内板については、雪解け後にでも早速とりかかりたい。	C (検討を要するもの)	
まちづくりについて、町内に3つあるJR駅を活用した活動や、「ふるさと資料館あすか」「年縄伝承館」等の文化施設を活用した活動、それらを関連づけた活動等に取り組んではどうかと考える。そういったアイデアについては、平成21年に行われたワークショップでも取り上げられていたので、そういった良い意見については、積極的に活かして欲しい。	ワークショップの成果については、資料として残っていると思う。地元の人と協力して形にしていく方策を練っていききたい。 また、駅や文化施設など、地域にあるものを活用した取り組みについては、平成24年度から開催する「いきいきまちづくり協議会」の場でも意見が出るものと期待しているので、具体化に向けていきたい。	C (検討を要するもの)	
「年縄伝承館」前の通りは、雪が多くて車がすれ違えない状態になっている。早めの除雪対応をお願いします。	町全域の排雪を行っているが、藤崎地区に比べて常盤地区の進捗が遅く、皆さんに不便をお掛けしている。当該通りの雪については、早急に対応する。	A (解決又は処理済みのもの)	2月14日、建設課が対応。
役場に行ってトイレを利用することがあるが、非常に暗いし、電灯スイッチがある場所は来客にとって分かりづらい。人が来たら自動点灯するように、センサー化してはどうか。	具体的な提案として承り、検討する。	C (検討を要するもの)	電灯のセンサー化に加え、洋式便座の設置についても検討していく。
福館・富柳から国道7号バイパスに交差する場所は、非常に狭くて、雪がない時でもバスが来れば他の車とはすれ違えない状態である。もっと広くしてもらいたい。	危険な場所については、雪がとけてすぐにでも確認して対応をする。ただし、当該場所については、国の所有地も絡むようなので、そうなれば改善に時間がかかることを了承願いたい。	C (検討を要するもの)	国土交通省と交渉していく。
心配事相談所を利用させてもらったが、相談員についてはどのように人選しているものか。 町の議員に問い合わせたが、何ヶ月経過しても返答がない。	(総務課長) 心配事相談所については、社会福祉協議会の事業であるので、当該人選の方法についても、確認して後ほど連絡する。	A (解決又は処理済みのもの)	2月14日、参加者に電話にて説明。 その際に、懸案の相談所は、本人ではなく友人が利用したもの（相談しても役に立たなかったとのこと）であり、かつ社協ではなくずーむ館で行ったものであることから、心配事相談所ではなく子育て相談等の別ものである可能性がある。 ただし、本人が利用したものでないため、それ以上の詳細は明らかにならなかった。

参加者の発言	町長の答弁	対応分類	備考
<p>地域の中で先立ちとなって動く人間がいない。リーダーの不在が大きな課題となっている。町の教育方針として重視してもらいたい。</p>	<p>「地域を先導するようなリーダーの存在が乏しい」「地域ぐるみで何かをするときに結束が難しい」といった問題はどこにでもあり、教育という点でいえば、地域で子ども会の活動等を通じて、地元への愛着や親しみを養っていく必要がある。 とはいえ、地域に暮らす若い人たちの中にも、有望な人材はいるはずである。そうした人が活躍できるように、周りがサポートし、先輩たちが見守って雰囲気盛り上げながら、地域ぐるみで環境を整えることが大事ではないか。 こうした問題は、行政に任せるだけでなく、地域が主体となって、意識的に主導していかなければならない。</p>	<p>E (対応不要のもの)</p>	
<p>せっかくずーむ館を訪れても、図書館が閉館しているために、帰って行く人を多く見かける。せめて土日については、常に開館するようにできないものか。</p>	<p>月に1回程度は土日の休館があるかも知れない。出来るだけ職員のシフトを工夫しながら、土日については開館するように検討する。</p>	<p>E (対応不要のもの)</p>	<p>基本的に土日は開館日として運営している。ただし、第3日曜日は「家庭の日」として家族で過ごすことを推奨されている日として、休館日となっている。また、祝祭日及び月末（図書整理日）と重なった場合は、土日でも休館日となることがある。</p>
<p>ずーむ館の駐車場は、冬季間は雪を寄せているだけになっており、排雪をしなければスペースの不足が著しい状態である。水による融雪装置を付けるなど、対策を講じるべき。</p>	<p>ずーむ館の駐車場については、拡幅が以前から懸案事項となっているが、住宅地の中にあるため、用地取得が容易でない。融雪の設備を設けることも含めて、担当課と検討していく。</p>	<p>C (検討を要するもの)</p>	
<p>ずーむ館の周辺の植栽の中に、大きないちょうの木がある。これについては、住宅地にある落葉樹のため、秋には落ち葉の処理が必要となっている。こういった大きな街路樹は、落ち葉処理の必要がないように、公園などの中に植えてはどうか。</p>	<p>当該街路樹については、雪が消えてすぐに確認して対応を検討する。</p>	<p>C (検討を要するもの)</p>	
<p>藤崎診療所について、今後の運営方針をどのように考えているのか。</p>	<p>藤崎診療所はときわ会病院に指定管理を委託しており、期間は10年となっている。現在の期間後も、同様の形態で更新出来るよう、ときわ会病院にはお願いしたい。 ただ、一度指定管理に移行しているため、再び町の直営に戻すことは全く考えていない。</p>	<p>E (対応不要のもの)</p>	
<p>町の消防防災の体制について、今後どのような見直しを持っているのか。</p>	<p>毎年、関係各団体と協力して町の防災訓練を実施している。ただ、この度の震災を経て、町全体のみならず、もっと各地区の単位で防災活動に取り組めるようにしなければならないと考えている。そうした部分に踏み込んで、新たな防災計画を策定するよう準備しているところである。</p>	<p>A (解決又は処理済みのもの)</p>	<p>この度の震災を受けて、国及び県の防災計画が改正となる場所である。町では、これに対応した形に計画を見直すこととしている。</p>
<p>県道前坂藤崎線について、岩木川河岸道路の整備後、白子地区の車通りが増えている。新たなバイパス道路の建設について、進展はどうなっているのか。去る12月にも住民説明会を開催する旨、建設課が話をしていたが、未だに開催されていない。</p>	<p>県に要望をして、実際に建設に着手することが決まったところである。今後9年間かけて完成となる見込みであるが、少しでも早く完成するよう、県に働きかけていく。</p>	<p>A (解決又は処理済みのもの)</p>	<p>平成24年度には詳細設計にとりかかる運びとなっているので、平成23年度内には当該地区住民に対する説明会が開かれることとなっている。</p>

参加者の発言	町長の答弁	対応分類	備考
<p>地産地消の拡大について、なかなか学校給食への地元食材利用が進まない状況が続いている。地元農産物を一次加工する施設として、藤崎診療所内の未使用スペースを活用してはどうか。</p>	<p>地元農産物の一次加工施設整備については、早期にとりかかるように考えている。場所としては、ときわ食彩館の一角で検討している。</p>	<p>C (検討を要するもの)</p>	
	<p>病院建物の利用については、運営を委託している医療施設であるので、簡単なことではないが、ひとつの意見として承る。</p>	<p>E (対応不要のもの)</p>	
<p>白子町内（弘前実業高校藤崎校舎付近）道路の急カーブは、道路の拡幅等を含め改善してもらいたい。</p>	<p>カーブ道路の拡幅等改善については、今後取り組んでいくので、時間をいただきたい。</p>	<p>D (要望に沿えないもの)</p>	<p>今後、当該地区にバイパス道路が完成すれば、懸案のカーブ道路の通行量が減少するものと考えられる。</p>
<p>J R 藤崎駅について、駐輪場がないために自転車がいつも乱雑に置かれている。現在行われている駅前トイレの改修に合わせて、駐輪場の整備は計画されているものか。 また、現在は便数も少なく交通の便が非常に悪い。リゾートしらかみも停車しない。改善はなかなか難しいと思うが、高齢者の移動手段の確保や観光客誘致の観点からも、町から J R に働きかけをお願いする。</p>	<p>J R 藤崎駅の駅舎及び駅前の広場については、土地が J R の所有となっているため、町としても軽々に施設の整備はできないところとなっている。 ただし、近々 J R と折衝の場を設けたいと考えており、町の負担を含めた施設の整備等について、広く交渉していきたいと考えている。</p>	<p>C (検討を要するもの)</p>	
<p>弘前実業高校藤崎校舎の廃校措置について議論されているようだが、是非とも存続させてもらいたい。</p>	<p>りんご科はこの藤崎町に残してもらわなければならないものと思っている。県教育庁に強く要望をして存続するよう働きかけていく。</p>	<p>B (要望に沿えるもの)</p>	<p>町一丸となって要望を続けて行く。</p>
<p>防災行政無線は、1日あたりの使用制限があるのか。町内で行われるイベントやスポーツ大会など、広報がなく、後になって分かるといったケースも多々ある。せっかくの設備であるから、そういったものの広報にも積極的に活用して欲しい。 例えば、板柳町ではコミュニティ情報の伝達手段として上手く利用されている。役場からの放送についても、各課からのお知らせを時には男性職員の声で届けるなど、もっとフレキシブルな利用をしても良いと思う。</p>	<p>(総務課長) 防災行政無線は、通常は午前午後の定時に1回ずつ、それに加えて緊急時の放送を入れることとしている。利用の仕方については、協議会を設置して検討をしている。 (町長) まずは、防災のため、次にコミュニティのためという順番で、有効に活用していきたい。</p>	<p>B (要望に沿えるもの)</p>	<p>要望に沿えるように、使用方法を検討しながら、利用状況を改善していく。</p>
<p>自宅の前の融雪溝は、水が流れていないときもたまにある。それは「流雪溝」でなく「融雪溝」であるから、ある程度仕方ないと聞いたが、その違いはどういったものか。</p>	<p>藤崎町が整備しているものは「融雪溝」が主流となっている。これは、文字通り流れで雪を運ぶための「流雪溝」ではなく、雪を融かすためのものなので、常時水が流れているという訳ではない。 それでも、町内全てに融雪溝があるという訳ではないので、設備がある地域の方はまだ良いと思って欲しい。 ただし、融雪溝に全く水がない場合には、お手数でも町に連絡を入れていただきたい。</p>	<p>E (対応不要のもの)</p>	

参加者の発言	町長の答弁	対応分類	備考
<p>白鳥への餌やりが出来なくなった。白鳥の数も減り、岸に寄りつかなくなって、インターネットカメラにも映らない。今後、再び餌やりが出来るようにはならないのか。</p>	<p>鳥インフルエンザの影響で、国や県から餌やり自粛についての指導があり、それに従った措置であると認識している。</p>	<p>A (解決又は処理済みのもの)</p>	<p>2月15日、町担当課である農政課に確認のうえ、電話連絡。 県の自然保護課から、「鳥インフルエンザ対応をきっかけに、以降毎年通知がきて現在に至っている」旨を伝えた。 質問者からは、「町の理事者も、貴重な町の資源である白鳥が減っている現実を確認して、対応を考えていって欲しい」とのお願いがあった。</p>

注) 「対応分類」欄の表示について

参加者から寄せられた意見及び提言については、町政反映へ向けた町長との後日協議を経て、その結果を下記により分類して表示しています。

- A・・・解決又は処理済みのもの
- B・・・要望に沿えるもの
- C・・・検討を要するもの
- D・・・要望に沿えないもの
- E・・・単に住民の立場から述べられた意見、説明された内容、又は質問（対応不要のもの）